

令和４年度 平野区区政会議（５月）全体会 会議録

1 開催日時

令和４年５月３１日（火） １９時００分～２１時０１分

2 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

3 出席者

（区政会議委員）２８名

稲田委員、浦崎委員、大澤委員、岡本委員、梶浦委員、川口委員、京極委員、
日下委員、是松委員、鳶谷委員、高上委員、田中委員、田部井委員、田村委員、
鶴澤委員、西尾委員、橋本委員、八野委員、比嘉委員、福本委員、松野委員、
水野委員、三井委員、本塩委員、山村委員、山本委員、湯浅委員、和田委員

（平野区選出市会議員）４名

永井議員、永田議員、新田議員、吉見議員

（平野区役所職員）２０名

武市区長、板橋副区長、小林まちづくり推進担当課長、塩野企画調整担当課長、小阪
安全安心まちづくり課長代理、三河防災・減災担当課長代理、辻まちづくり推進担当
課長代理、鶴田企画調整担当課長代理、小山保健福祉課長、塩田生活支援課長、澤井
保健福祉課長代理、京極地域担当課長代理、小野保健副主幹、立本こども教育担当課
長、安井総務課長、松元政策推進課長代理、岩男こども見守り担当課長代理、尾崎こ
ども家庭担当課長代理、葉山保健副主幹兼保健福祉課担当係長、樋口政策推進課長

4 議題

令和3年度 平野区運営方針の評価（振り返り）について

5 会議内容

○司会（小西政策推進課担当係長）

それでは、定刻になりましたので、ただいまより令和4年度平野区区政会議（5月）全体会を開催いたします。

本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

私は、司会を務めさせていただきます平野区役所政策推進課の小西でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会にあたりまして、区長の武市よりご挨拶申し上げます。

○武市区長

皆様、こんばんは。平野区長の武市でございます。本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

本日は、昨年度、令和3年度の平野区運営方針について、その達成状況などをご説明させていただきまして、その振り返りということで、まずテーマがございます。皆様方のご意見などをいただきまして、昨年、コロナ禍の中で様々な事業が制約受けましたけれども、精いっぱい取り組んできた結果を本日、目標の達成状況などをご説明させていただきたいと思っております。できるだけ区役所からの説明はコンパクトにいたしまして、その後、グループにも分かれて、皆様の忌憚のない様々なことについてのご意見をグループのテーマに沿って、日頃感じておられることなどをお聞かせいただければと感じております。短い時間ではございますけれども、活発な意見交換ができますようお願いいたします。開会にあたりましての私のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者の紹介でございますが、お配りしておりますA3両面の平野区区政会議委員及び関係者名簿をご覧ください。表面が名簿、裏面が座席表となっております。今回4月より新たに設置されました長吉川辺地域活動協議会からの推薦により新たに委員になられた方をご紹介します。

長吉川辺地域活動協議会から推薦の三井様でございます。

○三井委員

三井です。何もわかりませんが、よろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

ありがとうございます。

なお、三井委員には、意見交換会において、安全安心まちづくりグループに所属していただくこととなっておりますので、皆様、よろしくお願いいたします。

次に、区役所職員の紹介といたしまして、4月の人事異動により、副区長、堀井の後任として板橋が着任しておりますので、ご紹介申しあげます。

○板橋副区長

副区長の板橋です。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

ほかの委員の皆様及び区役所職員につきましては、大変恐縮ですが、こちらの名簿をもちまして紹介とさせていただきます。

続きまして、本日オブザーバーとしてご出席いただいている市会議員の方々をご紹介します。

永井広幸議員でございます。

○永井広幸議員

よろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

永田典子議員でございます。

○永田典子議員

よろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

新田孝議員でございます。

○新田孝議員

ご苦労さまでございます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

吉見みさこ議員でございます。

○吉見みさこ議員

いつもありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

なお、杉村幸太郎議員、田中ひろき議員におかれましては、所用のためご欠席で
ございます。

続きまして、傍聴者などの報告です。

本日、傍聴ならびに報道機関の取材などはございません。

それでは、次に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。

資料右上に付けております、事前に送付した資料としまして資料１から資料３、
その他、当日、本日の配付資料としましてクリップ留めをしている資料１から３がご
ざいます。

なお、当日資料２、令和３年度平野区運営方針評価シートにつきましては、事前
送付資料２と同じものになりますが、本日の提出用として委員氏名記入欄を設けまし
て、改めて配付させていただいております。

以上、資料の不足があれば、お近くの事務局職員までお声がけください。

それでは、ここで本日のタイムスケジュールについて簡単にご説明させていただきます。

まずは、次第のとおり、区役所から今回の議題であります令和３年度運営方針振り返りを約２０分程度でご説明させていただき、委員の皆様に評価いただきます。次に、各グループに分かれて、この令和３年度運営方針振り返りを踏まえて、評価や今後について意見交換を行っていただきます。小グループは、移動、休憩も含めまして１時間程度を予定しております。その後、再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開します。この場では、各グループで出たご意見などを報告していただき、それを基に皆さんで議論をしていただければと思います。終了は２１時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、会議を始めるにあたりまして、事務局より皆様方にお願いがございます。新型コロナウイルス感染症対策のため、会議中は常時マスクのご着用をお願いいたします。また、換気のため、扉を開放した状態で行いますことをご理解のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、ここからは岡本議長に議事進行をお願いします。

最初に、会議の成立及び会議の公開についてご確認をお願いいたします。現在の出席委員数は２８名です。

お願いします。

○岡本議長

岡本です。よろしくお願いいたします。

平野区区政会議は、委員定数の過半数の出席をもって会議が有効となるところで。本日は、委員３３名中、２８名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをご報告いたします。

この会議は録音され、後日、会議録が公開されます。

また、限られたお時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいております。会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

続きまして、本日の議題となります令和３年度平野区運営方針の振り返りについ

での説明でございます。こちらについては区役所よりご説明をお願いいたします。

○樋口政策推進課長

それでは、ここから私、政策推進課長の樋口と申します。ご説明申し上げます。

まずは、事前に送付いたしました資料の中から右上に資料１、今回の区政会議で主にご意見をいただきたい項目という資料をご覧ください。この後、昨年度の平野区運営方針についての自己評価などについて、事前送付資料の資料３、令和３年度平野区運営方針の振り返り【概要版】を用いて説明させていただきます。委員の皆様には、それを踏まえまして、評価シートのご記入をお願いいたします。ご記入いただく評価シートは、事前にも送付させていただいておりましたが、本日改めて配付させていただきました、右上に当日資料２となっております横長の令和３年度平野区運営方針【評価シート】という用紙になりますので、そちらをご覧ください。説明は、評価シートの説明の順にさせていただきますので、その内容を聞きながら、順次、評価シートの各評価欄に丸を付けていただきますようお願いいたします。

なお、会議の最後に評価シートは回収させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずは、この後、説明する各取組の実績と目標達成状況などが経営課題ごとのめざす将来像やこの後に資料３で説明する各取組のページに記載しているめざす状態の実現に有効であったかどうか評価していただきます。次に、その具体的取組をまとめた経営課題全体としての評価をしていただきます。各項目について説明を聞きながら結構ですので、当日資料２の評価シートの右側にある評価欄、思う、やや思う、あまり思わない、思わないのいずれか１つに丸を記入願います。３つ全ての経営課題について丸つけが一通り終わりましたら、評価シート右端の部分、重点という、書かれた欄ですが、こちらにつきましては令和５年度、来年度の運営方針策定に向けて参考にさせていただきたいと思いますので、平野区が重点的に取り組むべき項目だと思われるものにつきまして、最大３つまで丸をお願いいたします。９つの枠があるかと思

いますので、3つまで丸をつけていただきますようお願いいたします。

なお、この9つの項目は令和3年度を取組をベースにしていますので、これ以外にも来年度、令和5年度に重点的に取り組むべきと思われる取組等がございましたら、一番下の総合評価の評価理由記入欄にご記入いただいても結構ですし、後半の意見交換会でもぜひご発言いただきたいと思います。

最後に、昨年度、令和3年度における平野区を取組全体を総括し、その内容が総合的に見て区の目標の実現に有効であったかどうか、総合評価欄に評価をしていただきます。

それでは、当日資料2の評価シートをお手元に置いた状態で、資料3、令和3年度平野区運営方針の振り返り【概要版】というものをご覧ください。

まず、2ページ開いていただきますと、運営方針の各項目の前提となる区の目標と3ページ以降の取組全般を踏まえた今後の改善方向を記載しておりますが、こちらは改めて最後に説明させていただきます。

3ページ、ご覧ください。令和3年度の運営方針ですが、重点的に取り組む経営課題を3つ設定しておりまして、経営課題1、地域に応じた安全・安心のまちづくり、経営課題2、すべての人と人とがつながり支えあえる福祉のまちづくり、経営課題3、こどもが元気で育つまちづくりの3つそれぞれのめざすべき将来像に向けて、その右側に記載しております、合計9つの具体的取組を進めてまいりました。

では、次の4ページ、ご覧ください。まずは、経営課題1、地域に応じた安全・安心のまちづくりとしておりまして、まず、このページでは防災について具体的取組を説明させていただきます。防災については、めざす状態としまして、防災リーダーが中心となり、自主防災組織による主体的な取組を実施することにより、防災意識の普及啓発に努め、地域住民が防災に高い関心を持っている状態としまして、数値的な面で言いますと、昨年度、区民3,000名に対しまして無作為抽出で行いました区民モニターアンケートの回答において、防災意識が高まったと感じる割合が前年を上

回る 85.3%となり、目標値である 80%を上回っております。取組の成果とともに、地震等自然災害が近年増加していることも防災意識の高まりにつながっているものと考えられます。

次に、5 ページですが、具体的取組 1-1、地域防災力向上に向けた支援としまして、ハザードマップの全戸配布や広報紙・ホームページ等で防災情報を発信し、地域住民に自助・共助の大切さの理解を広げるとともに、区内企業・店舗へ災害時の協力内容の再確認や新たに防災訓練参加の呼びかけを行うなど啓発活動及び地域における防災の取組支援を行うことで、区民の自助・共助意識の醸成に努めてまいりました。

取組実績としましては、コロナ禍で実施が難しい面もありましたが、小・中学校で実施する防災の取組、写真にあるような学校での防災訓練などを 8 回、地域での防災訓練を 10 回など取り組んでまいりました。

結果、指標の達成状況としましては、防災の取組を通じて自助・共助の大切さを感じる割合、60%以上の目標に対しまして、区民モニターアンケートでは 91.4%となり、これらの取組が防災意識の高まりにつながったものであると考えられます。

続きまして、6 ページになります。防犯につきましては、めざす状態として、地域との協働や警察との連携によってより安全で安心なまちづくりを推進している状態としまして、区内の街頭犯罪発生件数は、経年比較しますと、左のグラフのとおり、件数自体は概ね減少傾向にあります。令和 3 年度については、前年と比べて、車上狙いや部品狙いなどの増加によりまして、全体の発生件数は少し増加しております。

また、区民モニターアンケートにて、各地域において最も対策が必要と感じるものは何ですかという質問に対しては自転車の交通マナーとの回答が最多でありまして、身近な問題として自転車の交通マナーについて対策が求められていると言えます。

次の 7 ページですが、具体的取組 1-2、地域防犯力向上に向けた支援としまして、地域、警察等との協働による防犯パトロールの実施や民間企業の協力による自転

車盗の啓発、関連機関と連携した特殊詐欺の啓発等を実施し、防犯意識の向上につながるよう努めました。

具体的には、防犯カメラの設置 20 台、民間企業と連携した自転車盗啓発、平野警察署及び地域住民との合同防犯キャンペーンやパトロールを実施し、指標の達成状況といたしましては、区民モニターアンケートにて防犯啓発やパトロールが犯罪発生防止に効果があると答えた割合が 95.1% となり、多くの方が取組に対して効果があると考えている結果となりました。

続きまして、8 ページです。地域活動力向上についてですが、めざす状態としては様々な人が地域活動に参加し、地域団体間での連携・協働が行われ、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態といたしまして、コロナ禍で活動はあまりできていないものの、地域活動協議会の認知度については大阪市の平均とほぼ同程度の 49.2%、経年比較しますと認知度は上がってきております。一方で、活動に興味を持ってもらえるよう、より効果的な運営を支援していく必要があると考えております。

次の 9 ページです。具体的取組 1 - 3、地域活動力向上に向けた支援としましては、コロナ禍において地域活動が自粛される中、感染対策を取りながら実施した事業内容を広報紙、SNS で発信し、地域活動協議会を PR することに努め、自立的な地域活動が促進できるよう支援を行いました。

具体的には、区民まつりをオンライン開催し、専用ホームページや You Tube でも各団体の活動を広く周知、また、地域活動のあり方について各地域で検討され、中間支援組織と共に支援を行うなどし、指標の達成状況としましては、地域活動協議会を知っている方のうち活動内容を知っている割合につきましては、目標値 40% のところ、62.2% となりました。今後も、より一層の認知度アップにつながるよう、取組を続けてまいりたいと考えております。

続きまして、10 ページです。まちの魅力向上についてですが、めざす状態とし

ましては区民ニーズ等を踏まえた未利用地の有効活用の方向性に基づき、まちの魅力の向上に取り組んでいる状態とし、区民モニターアンケートでは、平野区に住み続けたいと思う割合が目標を超える 81.2%となりました。

次の 11 ページにもありますように、具体的取組 1-4、まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用としまして、区内未利用地の有効活用を図るため、区政会議などの区民が参加した場での意見聴取やアンケート等において区民ニーズを把握することに努めました。今後も引き続き区民ニーズの把握を続けながら進めてまいりたいと考えております。

まず、ここまでで経営課題 1、地域に応じた安全・安心のまちづくりの説明とさせていただきますので、順次、評価シートの記載をお願いいたします。

それでは、すみません、引き続きまして、12 ページ、2 つ目の経営課題となります。経営課題 2、すべての人と人とがつながり支えあえる福祉のまちづくりにつきましては、めざす状態としまして、地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能しつつ、認知症や障がいのある人などの様々な状況に対する理解を深めながら、区民がつながり、支えあい、住んでいる地域で健やかで生き生きと暮らしている状態といたしまして、数値的には、中段、枠囲みの中ですが、困りごとや悩みがあるときに相談できると感じる割合は目標値を上回っております。しかしながら、一方で、若年層にとっては地域での付き合いが身近ではないとのご意見もあることから、地域活動を含めまして、すべての人につながりづくりの大切さを感じてもらえるよう努めていく必要があります。

次の 13 ページ、上段、具体的取組 2-1、各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実としまして、地域福祉のネットワークづくりを行うため、地域福祉活動コーディネーターの育成や地域での見守りに関するノウハウの蓄積など、区社会福祉協議会と連携し、地域支援体制の充実を図ってまいりました。

取組実績としましては、各地域の課題抽出や分析や地域の福祉活動への支援など

を行い、指標の達成状況としましては、地域活動への参加者アンケート結果になりますが、お住まいの地域で穏やかな見守りや相談活動が行われていると感じる割合について90.8%となりました。

また、下段の具体的取組2-2、地域における支えあい活動への支援といたしましては、区民が障がいのある方や認知症の方とその家族の気持ちに寄り添い、すべての人たちが住んでいる地域でその方らしく暮らし続けることができるように努めてまいりました。

取組実績としましては、地域における「いきいき脳活サポートマニュアル」等を用いました取組を51か所、いきいき脳活検討会を5回、いきいき脳活研修会9回などを実施いたしまして、同じく参加者アンケート結果からは、認知症予防啓発の取組において、認知症についての情報を得て、自ら取組に参加したいと感じた参加者の割合が、目標値70%以上のところ、78.8%となりました。

各取組においての指標は達成しておりますが、今後も引き続き支援の必要な方が地域で孤立することがないように、各地域の特性に応じたネットワークを強化しつつ、地域に気にかけることができる人を増やすなど、様々な地域福祉の担い手の皆様と共に地域の自主的な取組を支援、促進していく取組を進めてまいりたいと考えております。

経営課題2、健やかで生き生きと暮らせるまちづくりにつきましては以上でございますので、また順次、評価シートの記載をお願いいたします。

続きまして、14ページ、お願いいたします。3つ目の経営課題となります。経営課題3、こどもが元気で育つまちづくりにつきましては、めざす状態として、こどもが生きる力を身に付け、自ら大人や友達と関わりを持ち、育つことができる状態、また、すべてのこどもが適切な環境で養育される状態といたしまして取組を進めてまいりました。取組の中で、各事業の参加者には自尊心の向上などが見られる結果となりましたが、全国学力・学習状況調査の生徒質問において、学校に行くのは楽しいと

感じる割合については70.2%にとどまり、コロナ禍における不規則な登校スタイルも影響していると考えられます。

次に、具体的取組ですが、15ページをご覧ください。具体的取組3-1、児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援といたしまして、コロナ禍におきましても、子育てにおける親の孤立化の抑止と子育てしやすい環境づくりのため、コロナ感染防止対策や児童虐待について相談や情報発信に努めてまいりました。

取組実績としましては、子育て支援者対象のスキルアップ講座を年2回、ホームページやLINE等を利用した子育てに関する情報発信の充実として月5回以上更新を行うなど、取組を行いました。

指標の達成状況につきましては、子育てに必要な情報を入手できていると感じる子育て世代の保護者の割合について、目標値に若干及ばず、57.9%となりましたが、今後も様々な方法によりコロナ禍における効果的な情報発信に努めてまいりたいと考えております。

次に、16ページです。具体的取組3-2、こどもの学習意欲の向上といたしまして、こどもたちの生きる力につながる学習習慣の定着を通じて豊かな人間性をしっかり身に付けてもらえるよう、こどもたちの学びを支援してまいりました。

取組実績としましては、読書ノートを区内の小・中学生などに配付し、児童生徒への表彰やがんばる小・中学生について個人及びグループへの表彰を行いました。

数値的な目標では、大阪市学力経年調査において読書が好きと答えた割合は65.3%と、目標値には及びませんでした。読書ノートの取組以降、こどもたちが読書に向き合う機会は着実に増えておりまして、学校において本の内容を紹介しあうビブリオバトルなど、読書を通じて教育の機会につながっており、今後も取組を継続してまいりたいと考えております。

続きまして、17ページです。具体的取組3-3、こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援としまして、学校における教育分野と区役所における保健福祉分野

を連携し、こどもと子育て世帯が抱える課題に対して総合的な支援を実施してまいりました。

取組実績としては、こどもサポート推進員が学校と連携し、支援の必要なこどもと保護者に対して総合的な支援を実施するこどもサポートネット事業、高校生活の定着や卒業後の自立に向けた生活を支援する事業などを実施し、指標の達成状況としましては、こどもサポートネット事業は目標以上の361件の支援を実施。また、高校生などへの個別支援を行った者のうち、進学・卒業・転学・単位取得などにおいて前向きになったなどの割合が92.0%となるなど、概ね目標値以上の結果につながりました。今後も引き続き取組を進めてまいりたいと考えております。

以上で経営課題ごとの具体的取組などについて説明をさせていただきました。皆様、順次、評価シートの記入をお願いいたします。各経営課題の評価が終わりましたら、評価シート、右端部分の重点という欄に、来年度に平野区が重点的に取り組むべき項目について最大3つまで丸をお願いいたします。

すみません、そうしたら、資料のほうは3ページにお戻りください。ここまで区としての重点項目であるご覧の3つの経営課題について説明をさせていただきました。それぞれの具体的取組ごとに目標に達したものの、コロナ禍などの様々な要因もありまして、数値としては目標に達しなかったものなど、各取組を振り返り、今後の区政を運営していく中で次に生かしてまいりたいと考えております。

最後に、2ページになりますが、令和3年度における総合的な区の目標としましては、記載のとおり、すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり、支えあえるまち『ひらの』をめざす、誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち『ひらの』をめざす、こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち『ひらの』をめざす、この3つとなっております。この間の取組において、全てが順調に実施できたわけではございませんが、地域の方をはじめ関係各所の皆様のご理解とご協力もありまして、着実に進めてくることで

きたと考えております。昨年度、令和3年度における平野区の実現全体を総括し、その内容が総合的に見て区の目標の実現に有効であったかどうか、評価シート、一番下の総合評価の欄にご記入をお願いいたします。

今後につきましても、それらを踏まえまして、将来ビジョンや地域福祉計画においても大切さがうたわれているように、これまで以上に人とのつながりが重要性を増していることから、区における様々な課題に対し異なる分野の取組を連携・協働することでその解決を図りながら、各取組を通じ、地域内、地域と区役所などあらゆるつながりを主体的に醸成し、大切にするとともに、これまで培ってきた地域や区役所の様々な取組を積極的に発信し、次世代につなげる、継承することで平野区を笑顔で暮らしやすいまちにすることをめざした取組を進めてまいりたいと考えております。どうぞこれからも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上で、走ってまいりましたが、私からの説明は終わりになります。ありがとうございました。

○岡本議長

ありがとうございました。

それでは、ここで全体会を一旦中断します。

事務局の方、ご案内をお願いします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

委員の皆様には、各項目の評価をしていただいていると思います。先ほどご説明させていただきました内容についてのご意見、ご質問につきましては、大変恐縮ではございますが、時間の都合もございますので、この後のグループ別意見交換会や後半の全体会などでお伺いしますので、その際をお願いいたします。

また、皆様にご記入いただいている評価シートにつきましては、会議の最後に回収させていただきますので、それまでに随時、ご記入をお願いいたします。

では、これから皆様には席を移動していただき、グループごとに議論をしていた

だきます。

なお、後半の全体会では、各グループで話し合われた内容を委員の代表の方から報告していただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

意見交換の場所ですが、安全安心まちづくりグループはホール、この会場入り口、左手のパーティションをしている付近の机になります。地域福祉グループは2階の会議室でお願いします。こども教育グループは、現在お座りいただいておりますこの場所前方の机付近ということとなっております。

また、各グループに見学席をご用意しておりますので、市会議員の皆様も、よろしければ、ご見学をいただければと思います。

なお、移動する際、前方の机をこども教育グループの意見交換場所として使用いたしますので、対象の座席にお座りの方は、お手数ですが、お荷物なども含めて移動をお願いします。その他の方も、貴重品は各自で管理をお願いいたします。

全体会の再開は20時30分からを予定しております。

それでは、移動のほうよろしくをお願いいたします。

(グループ別意見交換会のため一時中断)

(再開)

○岡本議長

では、失礼いたします。それでは、ただいまより全体会を再開いたします。

本日の前半に、令和3年度平野区運営方針の振り返りについて区役所より説明がありました。それをもとに各グループで具体的取組等についてご議論いただきましたが、その内容について委員の皆様から出た主なご意見について、代表の委員より順に報告をお願いいたします。

まずは、安全安心まちづくりグループさんからお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○田中委員

安全安心まちづくりのほうの発表をさせていただきます、六反連合町会の田中です。よろしくお願いいたします。

まず、小・中学校の防災訓練については非常に評価が高かったように思います。特に中学生の力なんかは防災のときに非常に役に立つので、もっと訓練をやってほしいという意見が多かったです。ただ、コロナの影響もありましたけれども、区全体の小・中学校で8回、地域で10回というのはちょっと少なかったんじゃないでしょうかということです。

それから、その他に、自転車のマナーについて、小・中学校で、そういう教育的な取組で自転車のマナーについてもこどもの頃から教えるのがいいんじゃないでしょうかということです。

防犯カメラが役に立つんで、増やしてほしいと。

見守り隊が、小学生ですかね、7時から9時まで見守りをやってるんですけども、朝の自動車なんかが結構危なくて、見守り隊の人が止めたりするのがちょっと危ない、見守り隊の方もちょっと高齢になってきていますので、区役所、警察の応援もちょっとしてほしいなという意見も出ております。

防災無線のJ－A L E R Tが聞こえなかった、これは何とかならないのかなという意見がありました。これは区全体で聞こえるようにせんといかんのですかね。ちょっとそういう意見がありました。

それから、防災についての先進の加美連合さんからありましたけれども、防災訓練、避難訓練、避難所開設などの訓練をやらないかん、防災リーダー、スキルアップもせんといかん、防災リーダー間の連携、防災隊員の普及などもしてほしいという意見がありましたけれども、一番ちょっと、もう一つありましたのが、こどもの110番の家を、こども110番の旗みたいなやつがありますよね、あの黄色い、あれをもっと増やしてはどうかと、町中にたくさん出ると視覚的にも抑止力になるのではないかという意見がありました。

それと、安心安全とはちょっと違うんですけれども、ごみの分別についての話がちょっと出ました。特に高齢者、耳の遠い人とか認知症の方がおられますと、ごみをぐちゃぐちゃに出してるところがある、これは何とかならないのかという問題と、昔、環境事業局が小学校でそういうごみの分別についての授業をやったことがあります。もうこどものときからそういうのを教育的に取り組んでいくと、大人になっても自然にできるようになっていくんじゃないかという意見がございました。

以上です。

○岡本議長

ありがとうございました。

では、次に、地域福祉グループ、お願いいたします。

○水野委員

地域福祉グループの水野でございます。よろしくお願いいたします。

見守り活動についてご意見が出ましたのが、見守り活動について、1つは、家に訪問してきたら、新しい方法として外に出てきてもらうことの重要性を感じているという意見が出ました。また、コロナの中で、認知症の問題についても、外出ができなくて悪化していったということもあるため、外に出ることの大切さがわかりましたということでした。1つ、高齢者の独り暮らしの方を中心に訪問したところ、来てくれてうれしいわ、また来てくださいねと喜びの声をいただきましたということでした。

1つ、高齢者に集まってもらい、スタンプラリーでウォーキングの計画をされている地域もございました。

また、障がい者の方への理解促進についてのご意見がありました。たくさんのご意見が出ましたので、時間の制約があってもっととまどりませんでした。

以上でございます。

○岡本議長

ありがとうございました。

では、最後に、こども教育グループ、よろしくお願いします。

○山村委員

こども教育グループの山村です。よろしくお願いします。

ここで出ましたのは、学校、地域でのこども向けのイベントが減っていると、これはコロナのせいじゃないだろうかな。こどもたちの様子が見える取組も大切である。こどもの行動自体がなかなか見えないということで、これを明確にしていっていただろうかな。

振り返りについて、評価は下がっている。これは数字が適当ではない。この数字が適当でないのか。下がって普通。調査の在り方が問題ではないだろうか。

リモート授業により力を入れてほしい。不登校やコロナを理由に休んでいるこどもにも有効です。なかなかリモート授業がうまくいってない、扱いがわからないというふうなこともあるわけですが、これをうまく活用してやってほしいと。休んでいるこどもたちに有効であると思います。

学校に若い先生が多い。指導する体制を強める取組をしてほしい。経験のある先生が少ない。怒ったらどないしよう、何、どうなるんやなというふうな、考え込んでいる先生も多いんじゃないだろうか。また、対応もわからないというふうなこと。

それから、学校菜園と地域の取組、これ、学校の空いた菜園を地域に開放していただいているわけなんですけど、ここは不登校のこどもたちが登校してくれるようにする目的で行われました。実際、休み中のこどもたちが、おっちゃん、おばちゃん、何してんのん、ちょっとこれ見てと言ってミミズを誇らしげに持って見せる子、また、そこで植えてるものを興味深く観察する子がおります。逆に先生のほうから見れば、菜園の草取りが減って助かったと。放つといたら、菜園、草だらけだったんですけど、地域の方々がきれいに草を取ったと。これも一つよい方法ではないかな。この話の裏は前回、大和川の堤防でヤギを飼って、うまく草を刈ってるという話がありました。このお話のときに校長先生はその話をしてくれました、うちは人に刈ってもらいますい

うて。そんなお話が出ました。

こどもの挨拶についても、保護者が見守りしてても挨拶しない、こどもができるのに親ができないというふうな意見も出てました。大体そういうところでございます。

○岡本議長

ありがとうございました。

じゃあ、ここからは先ほどのご発表や小グループの意見を含めて、皆様よりできるだけ多くのご意見を伺ってまいりたいと思います。また、前半に区役所側より説明された内容への質問なども含めて、どんなことでも結構ですので、忌憚のないご意見をいただければと思います。ご発言される方は、挙手の上、事務局がお届けするマイクを使って、お名前と何々の件と言ってから簡潔にお話してください。よろしくお願いいたします。ご意見いかがでしょうか、大変重要なことがたくさん出ておりましたが。どのグループからも共通で出てましたのは見守り隊、見守り活動ということも各グループからお声をいただいたように思いますが、いかがでしょうか。実際に見守りをしていたいてる方とか、ここにも多数ご参加くださってると思いますけれども、どんな状況とかどんな実態とかお話しいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

山村委員が見守りをずっと続けてくださってるようですので、お願いできますか。

○山村委員

悪いことばかり言ってましたけど、見守りやってよかったなっていうことがあるんです。それは今年です。1年生です。いつも1年生と3年生の男の子、3年生がお姉ちゃん、1年生が男の子なんですけど、一緒に帰ってくるんですね。ある日、1年生だけが先、前、帰っていったんですよ。3年生が後ろから帰ってくるんですけど、ちょっと隠れてるんですよ。電信柱に隠れたり、ちょっとしゃがんでみたりして。ほんで、お姉ちゃん、どないしたんって聞いたら、こないして言うんですね。何してんの。今な、おっちゃん、弟、訓練してる。一人、家へ帰れるかどうか。ほほえましい感じなんですね。ほんで、何で言うたら、今日な、ママおれへんねん。弟に鍵渡

してん。ひょっとしたら落とすかわからへん。家帰れるかわからへん。私、後ろで訓練してんねんと。ものすごく誇らしげな顔して。その前に弟が私の前通ったときに、お姉ちゃんは。後ろ。どうしたん。ううん言うて、ほんで、きよろきよろきよろきよろして、ちっちゃい手出して、私の手握るんですわ。めっちゃめっちゃかわいい、もう柔らかい手で。おっちゃんかな、おじいちゃんかな、バイバイ言うて帰っていったんですよ。それからその子、帰るたんびに私の手握ってくれるんですよ。もうこれはやった者しか味わえん至福のときです。そういうことです。

○岡本議長

ありがとうございます。何かとても温かいお話で、本当にほのぼののいたしました。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか、いいお話もいっぱい出てきておりますが。せっかくの機会ですので、お声を聞かせていただければと思います。

川口委員、いかがでしょうか。突然申し訳ありません。

○川口委員

長吉出戸地域活動協議会の川口といいます。

今、見守り隊のことについて、私、先ほど小グループのときにちょっと言わせてもらいましてんけども、やはりこどもが通ってるのに車が平気な顔して7時から9時までの通ってはいかん道をかなりのスピードで通っていくと。

それと、もう1件は、私とこは今、住宅に住んでおります。周りに木、大木ですね、木とか植木とかあって、こどもらが見えない。各自町会で低木剪定をしておりますねんけども、今頃になったら伸びんのが早くて、こどもさんが歩いてても見えない。過去、何回か変質者が現れたというて警察のほうからメールが入ったり、いろいろしておりますねんけども、見守りいうても本当に朝7時半から8時半まで、夏は汗かいて、冬は鼻水垂らしてもう毎日毎日やっておりますんで、それは父兄の方がどない思っているのかわかりませんねんけども、一生懸命やらせてもらっております。以上

です。

○岡本議長

ありがとうございます。どんなにかご苦勞かが本当にわかります。ありがとうございました。

時間が大分なくなりましたが、いかがでしょうか。ぜひこの機会についておっしゃる方、ご意見ありませんか。すみません、ちょっと進め方、あれでしたね、時間がなくなりまして、申し訳ございません。

では、少しのご意見でしたけれども、貴重なご意見を頂戴しております。残念なことに、ちょっと予定の時間が迫ってまいりましたので、そうですね、全体を通じて何かぜひとおっしゃる方があればですが、ございませんでしょうか。

では、ここで鶴澤副議長から本日のまとめをお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○鶴澤副議長

お世話になっております。ご苦勞さまでした。

まとめになるかわかりませんが、時間のほうもちょっと過ぎてます、手短かにさせていただきますけれども。本日も大阪府におきましてはコロナ感染者約2,300ぐらいですかね、まだおられる状態の中で、大分と制限も緩んできて、オープンになってきております。そのためにやっぱりこちらの、いろいろ今、ご意見いただきました中においても回数がやってきたことが少ない、小学校、中学校の取組が8回とか地域防災10回だっというのも、多分、この面ではもう少し増えていくのではないかなというふうには思われますけど、これもまた、コロナの状況に応じてどのように変わるかわからないと。今いろんなことお聞きさせていただいたんで、本当にコロナがどういうふう動くかでまた、この活動の内容ががらっと変わってしまうと。でも、今、緩んできてるっていうか、オープンになってきてるので、今がやっぱりまた再度やっていかないといけない時期なのではないかなとも考えております。

それと、先ほども出ましたように、実績ですかね、実績のパーセンテージが非常に高いと。これ、信頼性あるのかなのかというふうに思われるとどうなのかなっていうふうにも思う点もあります。それと、ほかの話合いで、ちょっと小グループでも出たんで、そのパーセンテージが60%とかっていうのが、そのパーセンテージというのがいいものなのか、この項目に60%っていったら低いものなのかどうなのだろうかっていうご意見もちょっと出てました。やっぱり多分、91.4%というの、防災のところ、あるんですけど、これ実際、本当に全区民に調べたら91.4%もないんじゃないかなと思うんですね。だから、この辺りは数字とは別にやっぱり今後も考えていかないといけないのではないかなと思っております。各地域の皆さんが一番ご苦労されてることだと思いますけども、今後もコロナにお気をつけて活動のほうしていただければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

○岡本議長

まとめていただいて、ありがとうございました。

最後に、本日ご出席の市会議員の皆様からご意見をいただけますでしょうか。

○永井広幸議員

長時間お疲れさまでございました。また、ありがとうございました。議員らを代表しまして、一言ご挨拶とさせていただきたいと思います。

各テーブル回らせていただきまして、もう忌憚のない、皆さんが意見を言っていたいておりました。まさしく問題提起をしていただいて、すぐに答えが出るもの、なかなか出ないもの、たくさんありましたけども、要はそういう問題提起を出して、答えを求めるのではなくて、問題提起をしっかりと皆さんのそれぞれの立場の中で、皆さんの置かれてるところで出していただくことが行政も我々議員団も勉強させていただくことであるというふうに思います。

今の関心事というのは、コロナの話もございましたし、また、ウクライナのロシ

アの侵攻のこともそうですし、また、避難所対策のこともそうだと思います。コロナについては、もう高止まりで、大分解除になってきましたけども、数年前を考えると、この区民センターの会場もワクチン接種の会場になっておりました。そのときには本当にワクチン接種率も高く、ワクチンがない、そういう状況になっていましたが、2年たった今はもうだぶついて、ワクチンを廃棄処分しなければいけないぐらいのところにまで来てます。

また、ウクライナの危機についても、全体で1,000人ぐらいの方がこの日本に避難されてきてるということですけども、この平野区の中にも3名ほどのウクライナの方がおられて、そのご家族の方も避難を余儀なくされてる。幸いにも、この日本に避難されるよりもヨーロッパ各国に避難されてる方がおられるというふうに言っておられました。

あと、避難所対策についても、一部ご意見が出てましたけども、特に女性の方の視点をしっかりと大事にしていくことが必要であるということで、先日調査したところ、自治体の中で6割のところは女性職員がそこにいてない、ゼロであるというふうな実態もありました。その結果、避難所の中で授乳ができないとかパーティションがなくて着替えができないとか、いろんなそういう意見が出てました。幸いにして、大阪はそこまで少なくはないんでしょうけども、そういった視点も取り入れながら、皆さんで考えて、しっかりとこの平野区の中でよりよいまちづくりを、また、震災に強い、防災に強い、そういうふうなまちづくりを皆さんと共に我々もしっかりとご意見を勉強させていただいて、取り組んでいきたいというふうに思います。今日、皆さんからいただいた意見、本当に参考になりましたので、一つ一つこの行政の中で進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

○岡本議長

ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

皆様、議事進行へのご協力、ありがとうございました。

○司会（小西政策推進課担当係長）

岡本議長、鶴澤副議長、ありがとうございました。

それでは、ここで本日お配りしております当日資料３、アンケートについて、政策推進課長、樋口よりご説明させていただきます。

○樋口政策推進課長

それでは、本日お配りしました資料の中に、右上に当日資料３となっております区政会議に関するアンケートという用紙があると思いますので、よりよい区政会議の運営を検討していくため、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。回答いただきながら結構ですので、質問項目について聞いていただければと思います。

アンケート項目は全部で７つ用意しております。表面から、Ｑ１から順に区政会議での説明内容や配付資料の分量、区役所や委員間で活発な意見交換がなされたかどうか、活発な意見交換に向け、どのような課題があるか、課題の改善を図るためどのような取組や工夫が必要か、委員の皆様からいただいたご意見や要望、評価について適切にフィードバックが行われているかどうか及びそう思われた理由について選択肢記載いただくとともに、記入欄にご記入いただければと思います。最後のＱ７は自由意見になります。

なお、Ｑ２の活発な意見交換の事例としまして、この間の区政会議では委員の得意分野を生かし、じっくりと自由な意見交換ができるよう、本日のように全体会の合間に小グループに分かれての意見交換会の時間を設けております。

また、Ｑ５のフィードバックの事例としまして、区政会議でいただいたご意見につきましては、ご意見対応状況として整理の上、区役所の考え方や対応の進捗状況をお示しさせていただいております。このご意見対応状況につきましては、区政会議後、平野区のホームページでの公表や委員の皆様には次回の会議日程案内時に同封をさせ

ていただいております。今後もよりよい区政会議にしていくため、忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

区役所からの説明は以上となります。

閉会にあたりまして、区長よりご挨拶申し上げます。

○武市区長

委員の皆様、市議員の皆様、長時間にわたり、本当にありがとうございました。

本日出てきた話の中で、特に小さな頃からの様々な活動へ関心を持ってもらうというところで、ごみの分別であるとか自転車マナーというような話が出ておりました。今年、様々な取組を小学校もしておりますけれども、SDGsについて全市で取り組むということで、区政だよりも様々なSDGsの取組を載せていくようにというような指示がございまして、平野区としましては小学校で取り組んでいるSDGsの取組を今後、区政だよりでいろんな小学校のご紹介をしていきたいというふうにも考えております。小学生が取り組んでいるそういう取組を載せれば、その親ごさんは絶対見てくれるであろうというのはこちらの狙いでもありまして、小さい子どもたちの取組を地域の親ごさんたちが見ていただいて、理解をしていただければなと思ったりもしているところでございます。

また、見守り隊であるとか青パトの活動であるとか、次の担い手が大変になってきたというようなお話もたくさん聞きました。これも大変大きな課題だと考えておりますので、また、今年のみならず、来年度に向けてもどういったことが取り組んでいけるかというようなことも、今日のお話も参考にしながら取り組んでまいりたいと思っております。今後とも区政会議の協力をよろしくお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

○司会（小西政策推進課担当係長）

最後に、アンケート及び評価シートにつきましては、氏名の記入も含めまして、

記入後、名札とともにそのまま机に置いて帰っていただきますようお願いします。

それでは、これで平野区区政会議（５月）全体会を終了いたします。ありがとうございました。

—了—